

4月22日 防災教育の日 杉森小でのVR(バーチャルリアリティー)防災体験

※写真撮影時のみマスクをはずしています。



4月22日三中での訓練に参加中の中島会長

「定例総会のご報告」

5月13日すぎもり地区協議会の令和5年度定例総会を開催。令和4年度活動報告・決算報告、令和5年度活動方針・予算案の4議案すべてが審議承認されました。

考えよう 災害時のトイレ問題

地域でつながり災害対策

地域の皆様とともに

調布市立第三中学校 校長 宇田川裕美



今年度、4月より第三中学校に着任いたしました宇田川 裕美と申します。調布市での勤務は初めてとなりますが、このご縁を大切に精一杯頑張りたいと思います。

私が本校に赴任してたいへん心強いと感じた一つは、4月22日(土)に行われた調布市防災教育の日でのすぎもり地区協議会の皆様の活動です。当日、学校では、講師をお呼びして災害に備えるために必要なポイントや、初動対応から自分の身の安全を守りつつ、周りの人も守る手段についてなどのお話を伺ったり、避難訓練及び保護者の方への引き渡し訓練を行ったりしていました。

それらと並行して、すぎもり地区協議会の皆様においても避難所運営などの訓練をされておりました。たくさんの地域の方々が集まり、率先してご対応いただいていた様子から、災害の際には、地域全体で助け合うことが大切であることを実感するとともに、組織的に活動されていることを拝見し、このような地域に守られている第三中学校に赴任することができたことを嬉しく思うと同時に、安心感でいっぱいになりました。

学校としても、防災教育はたいへん重要です。今後も、定期的な避難訓練、安全指導を充実させながら、皆様とともに、防災意識を高めてまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



4/22
(土)

防災訓練

防災教育の日

調布市職員のリーダーさんを中心に訓練が行われました。すぎもり地区協議会では健全育成や地域の方とともに、三中と杉森小に分かれて参加。今回のテーマ「マンホールトイレ設置」のほか「避難所の建物利用調査」、「調布FMの受信確認」、「受付設置」などの訓練をしました。



リーダーの立川さん



まずは校門の開け方から



マンホールトイレの設置場所

三中での
訓練の様子



設置方法の説明



受付方法の確認



災害時の必需品ラジオ
(調布FMは83.8MHz)



風水害時には三中・杉森小とも避難所を開設しません



仮設トイレの組立て



使用にはいろいろと工夫が必要です



長友市長と清水校長先生

杉森小での
訓練の様子



皆で協力してブルーシートを敷きます



防災備蓄倉庫の開錠



井戸水が出るか確認中



組立て完了!

VR (バーチャルリアリティー) 防災体験車がやって来た!



6年生がゴーグルをつけて体験

3/19
(日)

2023年 ペット同伴避難訓練

すぎもり地区協議会副会長 大町忠敏



コロナの感染状況が落ち着いた3月19日(日)、3年ぶり3回目のペット同伴避難訓練を実施しました。今回は災害救助犬育成の経験があるドッグトレーナー・山形寿幸さんを講師に招き、三中北側の道路で実施。46匹の犬と多くの飼い主さんが参加しました。

講師に指導していただいた内容は、災害時の心得、ケージの入り方、初歩的なアジリティー(犬が柵やトンネルをくぐり抜けてタイムを競う競技)の訓練でした。

- 避難所ではケージを利用するため、犬をケージに慣れさせる手順が紹介されました。最初は覆い(屋根)を外した状態で犬を入らせ、慣れたら覆い(屋根)

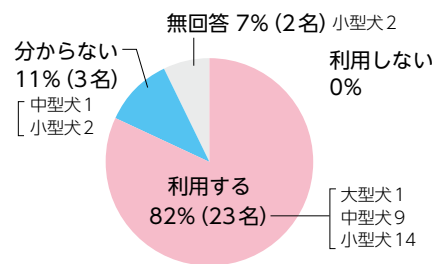


を付けて入らせるのがコツのことです。

- 柵を跳び越える訓練では、顔の高さの柵を跳び越えようとしない犬がいました。小型犬はジャンプする習慣がないのかもしれませんが。
- 高さ1m位のトンネルくぐり訓練では、トンネルに入れない犬がいる一方、長さ5m近いトンネルを平気で通り抜ける犬もいました。

訓練終了後、飼い主さんに当日の訓練や避難所利用、要望などのアンケートを依頼、回答数は28名30匹でした。災害時避難所を利用したいという方が82%でした。

避難所など知らない場所でペットが一番落ち着くのは、飼い主が抱っこしている時だと複数の方が回答され、ペットも含め家族全員一緒に滞在したいとの希望がありました。



※参加犬数46匹、回答数28名、アンケート回答者の犬は30匹だった。

また新たに分かったことは、犬同士のコミュニケーションが不慣れた犬は吠え続けてしまうことでした。過去2回の訓練では、吠える犬をちょっとした工夫で静かにさせることができましたが、今回は静かにさせることができませんでした。避難所運営の検討課題となります。

その他、多摩川の河川敷にドッグランがあると嬉しいとの要望がありました。

『地域を知ろう』

染地地域福祉センター (染地3丁目)

●ボランティアまつり 『染地マルシェ』

すぎもり地区協議会は415パックのアルファ米を配布。青空の下、久しぶりに賑わいが戻ってきました。



災害時の困りごと トイレ問題

大きな地震の後、停電・断水したら『いつもの快適な水洗トイレ』は使えません。避難所にマンホールトイレや仮設トイレが設置されるまでには日数がかかることが予想されます。トイレの初動対応として、避難所・自宅避難にかかわらず、便器・便座にかぶせて使うタイプの携帯トイレ(便袋)を、各家庭で家族分を1週間分は備えましょう。

連載 防災コラム

備えあれば ⑨

地域ネット担当 加藤洋子

困った時の乾麺頼み?

7月7日は七夕、乾麺の日でもあります。七夕の行事食「そうめん」は長期間保存、短時間調理ができ災害備蓄品としておすすめです。乾麺メーカーの方のお話によると、東日本大震災の後やコロナの外出制限時には出荷量が増えたとのこと。ローリングストックの一つとして常備、ふだんから美味しく食べて備えましょう。

■ 地域のおしらせ ■

「開催決定」

8月4日(金)・5日(土)

杉森地域納涼盆踊り大会

10月22日(日)

杉森地域運動会



福祉や介護に関する相談等は… 「調布市地域包括支援センターときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地、国領町6・7丁目、布田5・6丁目、多摩川6・7丁目です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、介護保険の申請や適切なサービス等をご案内しております。困った時にはお気軽にご相談ください。

所在地：国領町7-32-2 デュスモン国領 101

電話：050-5540-0860

開所：月～土 9時～18時 夜間及び日曜は転送電話対応



参加者募集

オンライン講座「どれみふあ介護」

地域包括支援センターときわぎ国領の職員が事例を用いながら介護保険や介護サービスについてお話しします。

どなたでも参加可能で、毎月1回同じ内容で行います。

介護のことに関心のある方、不安がある方、今まさに困っている方、ぜひご参加ください。

日時 毎月第4水曜日 19:00～20:00

内容 地域包括支援センターの役割と介護保険・介護サービスについて

場所 ZOOMを使用したオンライン開催

参加費 無料

対象 テーマに関心があり、パソコン・スマホ等でZOOMが行える環境にある方

申込み：QRコードから申込フォームにアクセスしていただき情報入力をお願いいたします。ZOOMのURLをご返信いたします。



生活の相談、仲間づくりの相談等は…

「調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター」へ

調布市社会福祉協議会では、「いつまでも住みつづけたい街づくりをめざして」という理念を持ち、地域の福祉を推進しております。先日、すぎもり地区協会ははじめ多くの団体に参加いただいたボランティアまつりも、その1つです。

また”社協”ではyoutube上で活動紹介も行っております。ぜひ一度、ご覧下さい。

- 染地地域福祉センター内 ボランティア室
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子

TEL 481-3790 火～土 9時～17時

- 調布市総合福祉センター内
地域福祉コーディネーター 川原 泉

TEL 481-7693 月～金 9時～17時

